

報告番号

※ 甲第 211号

主論文の要旨

題名

フケ毒の構造 — 特に
アンヒドロテトロ酸及び
アロ₂アンヒドロテトロ酸ラクトン
の構造

氏名

高橋 尚

主論文の要旨

報告番号

※甲第 211号

氏名

高橋 敬

フケの毒成分テロトキシンは1950年に初めて
純粋な結晶として得られて以来、構造研究がすすめ
られてきたが、過激な酸またはアルカリ分解による
生成物以外に結晶性誘導体が得られなかった為、最
近迄殆どいみじくも成果をおげないであった。しかし、テ
ロトキシンを水酸化バリウムで処理してアンヒドロテ
ロト酸を得、これを更なる臭素と反応させてプロモアンヒドロ
テロト酸ラクトンを得ることが出来たことにより、近時発
展した物理化学的測定手段—IR, UV, NMR, X-線
による結晶解析等—を用いてこれらの誘導体の構造
を推定することが可能になった。またプロモラクトン化合物
は重原子を含んでいる為にX-線による構造解析が
他のケル—フ—により成功し、化学的に推定された構造が
確認され、更に(絶対構造をも含めて)立体構造が明
らかになった為、これを基にしてテロトキシンの構造を
推定することが可能になった。この主論文では、X-線に
よる構造解析とは独立に、化学的乃至は物理化学的
手段により、上述の誘導体の構造を導き出し、更に
X-線の結果をも加えてテロトキシンの構造を推定す
る経路を主として示した。